

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月4日（水）

上越市立春日新田小学校において 出前講座「川の防災教育」を実施しました。

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（2組 計62名）を対象に、出前講座「川の防災教育」を実施しました。

本講座は全3回の内容からなり、第1回は災害・防災に関する基礎学習、第2回は散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習、第3回は学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習を行います。今回は、第1回目目の講座を行いました。

今後、第2回講座を10月5日、第3回講座を10月18日に実施する予定です。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 実施概要

日時：令和5年10月4日（水） 9:25～10:10（1組） 10:25～11:10（2組）

場所：春日新田小学校 教室

参加者：春日新田小学校4年生 62名

- 内容：
- ①災害の種類の説明 ～上越市ではどのような災害が起きるのだろうか？～
 - ②過去の水害の説明 ～上越市における過去の水害～
 - ③洪水が起こる理由の説明 ～なぜ関川では洪水が起きるのだろうか？～
 - ④洪水を防ぐ方法の説明 ～どうすれば洪水の被害を防ぐことができる？～



小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数：4年生・62名

実施日：令和5年10月4日（水）

● 講座の様子



災害の種類

みなさんが知っている災害の種類をたくさん挙げてもらいました。



上越市で起こる災害

過去に起こった災害を紹介しながら、上越市で最も起こりやすく注意が必要な災害は何かを考えました。



上越市の過去の水害

上越市は7.11水害をはじめ、何度も水害を受けてきたことを写真を用いて説明し、洪水が身近な災害であることを伝えました。



関川で洪水が起こる理由① (関川の集水域)

上越市は周りを山に囲まれ、広範囲に降った雨が関川に集まることを説明しました。



降雨量の比較スケールの作成

みなさんに、ものさしとシールを使って降雨量の比較スケールを作ってもらいました。



関川で洪水が起こる理由② (上越市の降水量)

スケールを使って主な都市の年間降水量を比較し、上越市はたくさんの雨が降ることを説明しました。



関川で洪水が起こる理由③ (関川の勾配)

関川は日本の河川のなかでは急勾配のため水が勢よく流れることを、斜面でボールを転がすモデルを使って確認しました。



高田平野の成り立ち

関川の流れる高田平野の成り立ちを、模型を使って説明しました。高田平野は、洪水が運んだ土砂によって作られた土地であることを学びました。



洪水への備え

わたしたちが洪水の危険が大きい平野に住む理由、そして洪水の被害を防ぐためにどんな対策があるのかを考えてみました。